

た。

参加者からは、同年代の人と共同で何かしたい、地域・館種を超えて図書館で働く人と知り合い、意見交換をできる場がほしいといった声があがった。また、図書館について専門的に学んだことがなく、図書館のことを相談できる人がほしいという声もあった。この声は、主に学生時代の友人というつながりで増えていった ML 参加者だけではあがってこなかった声だろう。キックオフミーティングが終わったところから、まだ名前も付いていないぼんやりとしたイメージのこの集まりは、同期だけが集まる「同期会」ではなく、もうすこし活動っぽいものをしていきましょう、あわよくばその活動を通して自分たちも成長していけたら、という「図書館員の部活動」へと変わっていった。

図書館員の部活動

学生の部活動の楽しさといえは友人との出会いやつながりだろう。部活が授業ではなかったように、図書館員も業務ではないところで仲間を見つけ気軽に話ができる場があったらよいと思う。やりたいことをやる時には、自分で声を上げればよい。自由に声を上げて、拳がった声に誰かの反応がある。自分がやりたいことを他の人が始めていたら、その輪に加わればよい。自分ならどうするか、何ができるかを考え動くのがちょっと大人な私たちの部活だろう。Lifo という部活から、新たなヒト・モノ・コトとの出会いもあるかもしれない。

キックオフミーティングでは、自分たちのメディアをつくりたいという声があがった。たとえば、今なら手軽な HP の公開、共有ツールとしての CMS やメーリスの活用。そのうち、当たり前すぎるデジタルメディアとは距離をおきたくなって、フリーペーパーをつくりだすかもしれない。テーマを決めて記事を書いたり依頼したりして、それを紙におく。つまりデザインする。思ったコト、考えたコトをモノにしていくなかで、普段の図書館の仕事ではあまり使わない才能や技術も磨かれる。読者の手に届けるための努力も必要だろう。図書館で働いていても、このような情報の発生から流通までの全行程を体験する機会は少ない。だからこそきっとおもしろい。そんなおもしろい企画がたくさん生まれるといい。

もちろん、その経費はどうする？という問題もある。それなら、フリーペーパー作りの資金集めをする。それも新しい目的となる。目的があるから資金を集め、前に進む。

何も目指さないを目指す

Lifo の活動は、明日の図書館活動の役には立たないかもしれない。お手軽な how-to は用意されていないし、論文を書いたり小銭を稼いだりするわけでもない。ただ、将来的にはそんな土壌も生まれるかもしれない。

新人や若手が最も得意なことは、疑問を持つことだろう。それは、突き詰めれば Lifo の由来である「Library for ...」の...部分を埋めるパーツを考えること、すなわち「図書館とは私(たち)にとって何なのか」という問いにつながる。今の仕事の進め方でいいのか、図書館サービスとは何か、本質的な機能とは何か、そもそも図書館って必要？文字面で例えると、図書館をとしょかんに解体するような、そんな問いをいつまでも持ち続けられる人、持ち続けたい人、それが Lifo のメンバーである条件かもしれない。Lifo は当初“新人の会”として始まった。そのため、新人じゃなくなったらどうするの？という課題もある。将来のことは、当たり前だが常にわからない。その時がきたらみんなで決めればよいと思いつつ、いま私たちの一つの考えもここに示したい。

おむすびたち

Lifoに必要なのは todo リストではなく wish リスト。各自のイメージする「何かをしたい」で集まっている。それぞれの wish リストが交差し花開くところ、そんな場になったらいい。とはいえ、キックオフしたばかりで本格的な始動はまだまだこれから。何の役にも立たないかもしれないが、それでもいい。一つだけ明確にいえることは、何かにひかれて集まったメンバーがいるということだ。

私たちはおむすびの中の具、ご飯は図書館だとしよう。おむすびの具がたくさんあるように、私たちにも一人ひとり様々な想いやそれぞれの特技がある。最初は面識のない人同士が、あだこうだ話をしたり、やりたいことをやってみることを楽しむ。いろんな具が組み合わせあって美味しくなり、具だけよりもおむすびになったときになお美味しい。そういうふうに、図書館で働いていることを通じて、人とつながっていきたい。

Lifoの未来はどうか、誰にも予想できていない。何かしたい、という声をお待ちしている。新しいことを実現したり、一緒に楽しみながら、成長していける場所をつくりたい。人と人が有機的に組み合わせあって意外なモノ・コトが生まれる、そんな流れとそのプロセスを感じるこそそのものが Lifo に参加する意義になれば、とマネージャー3人は願っている。

End.